

まちづくり推進部 地域づくり支援課の方針書

組織名	まちづくり推進部 地域づくり支援課
所属長名	高橋 良明

1. 組織の使命(ありたい姿)

市民だれもが地域で活動しやすい環境づくりに取り組み、地域コミュニティの活性化を図ります。
市民一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会を目指し、男女共生のまちづくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

(1)地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する地域運営組織の活動を支援するとともに、組織設立の全市展開を目指しています。・・・28地区のうち24地区で設立済み
(2)市民や各種団体、企業、行政など、すべての人々や組織の共通認識の下、「だれもが」住みやすい男女共生社会の実現を目指しています。

3. 今年度の『スローガン』

多様な主体による協働を促し、地域コミュニティの活性化を図ります！

4. 今年度の方針

関係部局・団体と連携し、
(1)市民が主役の地域活動を推進し、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指します。
(2)市民一人ひとりが自分らしく輝けるまちを目指し、男女共生意識を高めます。
(3)交通安全及び防犯意識の向上を図り、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民が主役の地域活動による持続可能なまちづくり
	取組内容	①既存の地域運営組織の活動を支援するとともに、全市での地域運営組織の設立を目指し、ワークショップや先進地視察、研修などを実施します。 ②地域運営組織の持続可能な運営に向け、地区交流センター運営協議会委員や職員を対象とした研修会を開催し、情報共有の場、学び合い・磨き合いの場を創出します。 ③地域づくり活動補助金など、各種補助制度の活用を促し、市民が主体となって地域課題の解決や地域の活性化に取り組む活動を支援します。
(2)	実現したい成果	男女共同参画計画の着実な推進と市交流センター（Y2ぶらざ）の適正な管理運営
	取組内容	①市民による推進協議会を開催し、男女共同参画計画第4次計画の効果的な実施と進行管理を行うとともに、第5次計画（R8～12）の策定に取り組みます。また県南部男女参画センター等との連携による情報発信やイベント等の開催により、男女共同参画の意識啓発を図ります。 ②ワークライフバランス講演会やワークスタイル研修を開催し、仕事と生活の調和及び男性の家事育児参加の促進と女性の活躍推進を図ります。 ③Y2ぶらざ及び立体駐車場の建物や機械・設備の保守管理を適切に行い、安全安心な利用環境の整備に努めます。
(3)	実現したい成果	市民が安心して暮らせるまちづくり
	取組内容	①交通秩序の保持及び交通事故防止に向け、交通指導隊や交通関連団体との連携強化により、市民の交通安全意識の高揚を図ります。 ②交通安全対策会議を開催し、横手警察署や関係機関と共に、第12次交通安全計画（R8～12）を策定します。 ③犯罪の未然防止や市民の防犯意識の向上を図るため、防犯指導員の活動を支援し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

令和7年度
まちづくり推進部 横手の未来ともにつくる課の方針書

組織名	まちづくり推進部 横手の未来ともにつくる課
所属長名	高橋 美貴子

1. 組織の使命(ありたい姿)

暮らす人の目線と外からの視点を合わせ、「住み続けたい・住みたい・応援したい」と思えるまちづくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

様々な地域課題解決のため、公民連携による取り組みを進める必要があります。
地域経済の活性化・賑わい創出・横手市の魅力向上のため地域資源を有効活用する必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

「住み続けたい・住みたい・応援したい」と思えるまちづくりのため
共創力を発揮する

4. 今年度の方針

- (1) ふるさと納税による地域経済の活性化を目指します。
- (2) 多様な関係人口の創出と関係性深化により応援人口の拡大を目指します。
- (3) 公民連携による共創のまちづくりを目指します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	ふるさと納税により地域経済が活性化されている
	取組内容	①関係部局・民間事業者等と連携し、返礼品の掘り起こし・磨き上げの実施 ②ポータルサイトの魅力向上とPRの強化 ③返礼品登録事業者等にとって取り組みやすい環境づくり
(2)	実現したい成果	多様な関係人口の創出と関係性深化により応援人口が拡大されている
	取組内容	①横手に対する「関与と感心」が高まるような取り組みの実施 ②地域おこし協力隊制度の適切な活用と地域協力活動の支援 ③移住検討者や移住者への支援
(3)	実現したい成果	公民連携による共創のまちづくりが進んでいる
	取組内容	①公民連携のまちづくりの仕組みづくり(市民や民間事業者、庁内等からの提案事項の調整と事業化) ②未来共創プロジェクトの実施 ③マンガ文化等の地域資源を活かした事業の実施

まちづくり推進部 横手地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 横手地域課
所属長名	坂水 剛

1. 組織の使命(ありたい姿)

多様な住民ニーズを的確に捉え、市民との協働による安全安心な地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

【現状】

- ・消防団員や交通指導隊などのなり手が減少している。
- ・毎年度、災害が発生し避難所を設置している。
- ・横手地域の7地区交流センター中、朝倉、旭、栄、中央地区に地域運営組織が未設置である。
- ・毎年度、道路・公園の維持管理の作業中に事故が発生している。

【課題】

- ・消防団員等の減少に歯止めをかけ、担い手の確保を進めるとともに、非常時に備えた住民の防災意識醸成を図ることが重要である。
- ・安全安心のまちづくりを推進するため、地区交流センターを拠点とした地域運営組織を活かした地域住民の交流を促進が必要である。
- ・道路や公園の適正な維持管理を行うとともに、作業安全の管理、徹底をすることが重要である。

3. 今年度の『スローガン』

住民との協働による安全安心のまちづくりを！

4. 今年度の方針

- (1) 消防団活動を通じた住民の防災意識の向上
- (2) 地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全・防犯の推進
- (3) 道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	消防団活動を通じた地域住民の防災意識の向上
	取組内容	①消防団活動の情報発信を強化し、火災と災害に対する意識醸成を図ります。 ②地区交流センター等での啓発資料の展示により、防災意識向上に向けた広報活動に取り組みます。 ③横手支団幹部との対話連携を基に、各種会議等の場を通じ新規消防団員の獲得に取り組みます。
(2)	実現したい成果	地区交流センターを拠点とした地域活性化と協働による交通安全・防犯の推進
	取組内容	①朝倉地区の地域運営組織を令和8年4月設立を目指した支援に取り組みます。 ②旭地区の地域住民と地域の現状や課題を共有し、地域運営組織形成に向けた支援に取り組みます。 ③栄、中央地区の地区会議担当職員に対し地域運営組織への理解を深化させるための活動を行います。 ④広報活動を強化することで施設利用者の増加を図り、住民の交流促進と地域の活性化に努めます。 ⑤災害時の迅速な避難所開設のため、避難所開設マニュアルや緊急連絡体制などを整備します。 ⑥交通指導隊や防犯指導隊の活動を様々な媒体を通じて紹介することで、新規隊員獲得に取り組みます。
(3)	実現したい成果	道路・公園の適正な維持管理と作業事故ゼロの達成
	取組内容	①危険箇所の早期発見と迅速な対応を図るため、常襲穴ぼこ地の情報収集を行い、データ化することで地域の安全確保に努めます。 ②作業員を刈払やチェーンソーなどの講習会へ積極的に参加させ、安全管理や作業技術の向上に努めます。 ③道路・公園の作業班で人事交流を行い効率的な作業と緊急時に速やかに情報共有ができる連絡体制を構築します。

令和7年度

まちづくり推進部 増田地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 増田地域課
所属長名	信太 正樹

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域のみなさんが愛着を持ち「人と地域が燦くまち」を目指して、地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・市民に寄り添った窓口対応や適性かつ効率的な事務を執行します。
- ・指定管理施設を効率的に運営するため指定管理者との連携を強化します。
- ・FM計画に基づいて公共施設の適正な管理を実施します。

3. 今年度の『スローガン』

正確さと積極性の両立を目指そう

4. 今年度の方針

- (1) まちづくりの活性化を図るため、住民が主役の魅力ある地域づくり活動を推進します。
- (2) 公共施設等の適正な維持管理に努め、指定管理施設についても効率的な運営方法を関係者と協議します。
- (3) 市民が誇りに思えるまちづくりを進めるため、重伝建の町並みや歴史・文化・マンガなどの有効活用を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	まちづくりの活性化を図るため、住民が主役の魅力ある地域づくり活動を推進
	取組内容	①地区交流センターの取り組み・運営を支援し、地域づくり活動を推進します。 ②4地区交流センター合同連絡会等の開催により情報の共有化と連携を図り、共同事業の実施等から各センターの活性化を進めます。 ③センターだよりの定期的な発行を支援し、情報発信に努めます。4地区交流センターの取り組みへの理解と参加を促進します。
(2)	実現したい成果	公共施設等の適正な維持管理の実行と指定管理施設の効率的な運営方法の協議
	取組内容	①増田体育館をはじめとする所管施設や市有地、公用車等について、適正な維持管理を徹底します。 ②天下森スキー場やふれあい農園、真人山荘、外畑牧場、堆肥処理センターなどについて、指定管理者と効率的な運営やあり方について協議します。天下森スキー場周辺の夏場利用についても関係者と協議を進めます。 ③天下森スキー場接続道路を安全な道路に改良するために必要な調査等を進めます。 ④狙半内地域活性化のための方策を地域住民と連携を図りながら進めます。 ⑤旧石田理吉家(旧増田町診療所含む)周辺の利活用に向けた調査等を進めます。 ⑥老朽化が顕著な亀田及び西成瀬地区交流センターの施設改修計画を具体化し、整備に向けた準備を進めます。
(3)	実現したい成果	市民が誇りに思えるまちづくりのため、重伝建の町並みや歴史・文化・マンガなどの有効活用を図る
	取組内容	①市と関係団体との連携連絡により、地域文化資源のさらなる有効活用を図り、魅力ある地域づくりを進めます。 ②「増田蔵の日」や「増田の花火」など関係団体が主催する各種イベント等の開催を支援します。 ③地域の小中学校や団体との協力連携により、地域の魅力発信や伝統文化継承の取り組みを推進します。

令和7年度

まちづくり推進部 増田市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 増田市民サービス課
所属長名	織田 秀介

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域に身近な窓口として親しまれ、信頼され、快適なサービスを提供します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1)限られた人員において、多種多様な制度への理解を深め、丁寧で確実なサービスの提供が求められている。
- (2)少子高齢化が進む中、支援が必要なケースの早期発見や適宜適正な対応、健康寿命の延伸が求められている。
- (3)地域や施設的环境を整え、関係機関や保護者等と連携した安全安心な運営が求められている。

3. 今年度の『スローガン』

笑顔とあいさつ、明朗快活な対応で分かりやすくサポートします。

4. 今年度の方針

- (1)ニーズを的確に把握し、丁寧で確実な窓口サービスを提供します。
- (2)ライフステージに合わせた健康福祉を推進し、支援が必要なケースの早期発見と問題解決に努めます。
- (3)安全安心な施設運営と地域や施設、子育て環境を整えます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	ニーズの的確な把握と丁寧で確実な窓口サービスの提供
	取組内容	①積極的な研修参加や個々の学習により、多種多様な制度への理解を深め、スキルアップ図ります。 ②来庁者のニーズを的確に把握し、丁寧で確実な窓口サービスを提供します。 ③証明書コンビニ交付やリモート相談窓口の活用などIT化の推進により市民サービスの向上を図ります。 ④笑顔とあいさつ、明朗快活な対応を意識し、接遇マナーや電話マナーを向上させます。
(2)	実現したい成果	ライフステージに合わせた健康福祉の推進
	取組内容	①乳幼児、成人などライフステージ毎の健康教育・相談、健(検)診の周知や受診勧奨を強化するなど、健康増進意欲の高揚と健康寿命の延伸を図ります。 ②必要なサービスが効果的に行き届くよう各種施策の周知を図り、福祉の向上を推進します。 ③支援が必要なケースは、関係機関とも連携し、早期発見と問題解決に努めます。
(3)	実現したい成果	安全安心な施設運営と環境整備
	取組内容	①保育園や学童保育等の環境を整え、保護者や関係機関とも連携を図り、安全安心な子育て支援サービスを推進します。 ②保育園の民営化や学童の委託化、老人憩いの家の廃止に向け、円滑に移行出来るよう準備を進めます。 ③自治会によるクリーンアップが効果的効率的に実施できるよう支援します。 ④空き家管理の徹底により、住民不安の解消や、まちなみの景観向上と環境保全を図ります。

まちづくり推進部 平鹿地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿地域課
所属長名	佐藤明子

1. 組織の使命(ありたい姿)

魅力ある地域資源を活用し、市民と一体となった協働のまちづくりを推進します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 地域課題の解決にむけ、地区交流センター運営協議会による活発な事業の推進を支援する必要があります。
- (2) 魅力ある地域資源を活用した、産業・観光の推進による地域の活性化が必要です。
- (3) 安全安心な公共施設の管理に努め、良好な市民サービスを継続して提供する必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

行政サービスに遠慮はしません！

4. 今年度の方針

- (1) 地域課題解決に向けた地区交流センター事業の取り組みを支援します。
- (2) 地域資源を生かしたイベントで賑わいの創出を図ります。
- (3) 公共施設の適正な維持管理と、住民要望に対する適切な対応に努めます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域課題解決に向けた地区交流センター事業の取り組みへの支援
	取組内容	・地域住民が主体となった地域づくり活動ができるよう地区交流センター運営を支援します。 ・3地区交流センター合同会議等を行い情報の共有化を図り、各地区交流センター活動の活性化を進めます。
(2)	実現したい成果	地域資源を生かしたイベントで賑わいの創出
	取組内容	・あやめまつり、浅舞八幡神社祭典、槻の木光のファンタジーによる平鹿地域の魅力発信に努めます。 ・平鹿りんご味覚まつりによる地元農産物の魅力発信と、地域住民との協働による事業実施に努めます。
(3)	実現したい成果	公共施設の適正な維持管理と、住民要望に対する適切な対応
	取組内容	・公共施設の適正な維持管理に努め、安全安心な公共施設の提供に努めます。 ・住民からの要望を完結させます。また、早急に解決できない場合でも、のちにできること、代替えにできることなど、理解が得られる説明に努めます。 ・関係団体等への丁寧な説明と対話によりFM計画の推進を図ります。

令和7年度

まちづくり推進部 平鹿市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 平鹿市民サービス課
所属長名	石川 知博

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域の最も身近な行政窓口として、市民に信頼される迅速かつ正確な行政サービスを提供します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 限られた人員の中でも信頼される窓口をめざし、確実なサービスを提供する必要があります。
- (2) 市民が安心して暮らせる支援体制の確立が必要です。
- (3) 健康寿命を延ばすため、受診率向上のための周知、啓発を徹底する必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

行政サービスに遠慮はしません！

4. 今年度の方針

- (1) 市民に信頼される確実なサービスを提供します。
- (2) 市民が安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- (3) 市民が健康で暮らせるまちづくりを推進します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民に信頼される確実なサービスの提供
	取組内容	・市民を笑顔で迎え、丁寧でわかりやすい説明をします。 ・窓口アンケートを実施し、結果を業務に活かしながら、業務の改善、サービスの向上に努めます。 ・職員が各種研修に参加し、スキルアップを図るなど自己研鑽に努めます。 ・課内での情報共有やコミュニケーションを密に取り、課内の協力体制と職員間での気づきを推進します。
(2)	実現したい成果	市民が安心して暮らせるまちづくりの推進
	取組内容	・高齢者世帯への見守り体制を推進するため、平鹿地域在住の75歳以上の一人暮らし世帯に、保健師、民生委員と一緒に訪問し、生活状況の把握や各種相談を実施します。 ・地域の身近な相談相手であり、支援を必要とする市民と行政のパイプ役である民生児童委員の定員確保に取り組みます。 ・空き家の所有者や管理者の把握に努め、適切な管理の指導を行います。
(3)	実現したい成果	市民が健康で暮らせるまちづくりの推進
	取組内容	・健康寿命の延伸を目指し、健(検)診受診率向上に向け、健康相談・健康教育等の保健事業において積極的な受診勧奨を行うとともに、受診機会を逃さぬよう健(検)診日の変更についても柔軟に対応し、受診しやすい環境を確保します。 ・健康増進施設「ゆとり館」の利用者に安全安心な施設サービスを提供します。

まちづくり推進部 雄物川地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 雄物川地域課
所属長名	佐々木浩之

1. 組織の使命(ありたい姿)

雄物川地域の市民生活を支え、魅力ある地域資源を活用した笑顔あふれる地域づくりを推進します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 市民と協働による持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。
- (2) 公共施設や生活インフラの適正な維持管理のほか、地域の自然、歴史、文化を守り受け継いでいくことが重要です。
- (3) 多様化する住民ニーズを的確に捉えて、要望に応えていく必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

地域と共に成長し続ける～地域の個性が活かせるまちづくりへ～

4. 今年度の方針

- (1) 地区交流センターを拠点とした地域運営組織の活動を支援します。
- (2) 公共施設等の適正な維持管理と地域特有の資源である自然・文化・歴史を積極的に活用し賑わいの創出を図ります。
- (3) 住民ニーズを的確に捉えて、きめ細かな行政サービスにより課題解決に取り組んでいきます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地区交流センターを拠点とした市民協働による地域づくりが行われている
	取組内容	- 地区交流センターの運営体制を支援し地域づくり活動を推進していく。 - 地区交流センターで実施する生涯学習活動を支援し、地域での学び合いを活発化させていく。 - 地区会議や運営協議会が抱える地域課題を共有し、解決に向けた活動や取組みを支援していく。
(2)	実現したい成果	公共施設や生活インフラが適正に管理され、地域資源の積極的活用により賑わいが創出されている
	取組内容	- 危険個所の早期発見と迅速な対応により、道路、河川、公園等の適正な維持管理を行っていく。 - 雄物川地域の自然、歴史、文化、祭り、行事を守り、地域資源の魅力を地域づくり活動に活用していく。 - FM計画に基づき、公共施設(雄物川地域)の計画的な維持保全と再配置を推進していく。
(3)	実現したい成果	住民ニーズに対応した行政サービスの提供により市民満足度が高まっている
	取組内容	住民からの要望等には、対話を重ねながら適切に対応していく。また、達成が困難な案件については更なる解決策を提案していくなど住民目線で課題解決に取り組んでいく。

令和7年度

まちづくり推進部 雄物川市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 雄物川市民サービス課
所属長名	松川 敬

1. 組織の使命(ありたい姿)

市民に寄り添った誠実かつ適切なサービスを提供し、市民が安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 誠実かつ適切なサービスの提供と、常に改善と効果を意識し業務を進める必要があります。
- (2) 住民の状況に寄り添った福祉施策、健康施策により安心安全な地域生活を提供する必要があります。
- (3) 安全な生活環境づくりのため空き家対策等の生活環境事業を推進する必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

訪れた人の心が軽くなって帰れる窓口。

4. 今年度の方針

- (1) 誠実かつ適切な市民サービスの提供と、常に改善と効果を意識し、着実かつ確実に業務を遂行します。
- (2) 安心して暮らすための福祉と健康施策を推進します。
- (3) 安全な生活環境づくりのため空き家対策等事業を推進します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	誠実かつ適切な市民サービスの提供と、常に改善と効果を意識し、着実かつ確実に業務を遂行します。
	取組内容	①市民の来庁目的を的確に把握し、窓口において適切なサービス提供を行います。 ②マイナンバーカード電子証明書「期限切れ元年」と言われている2025年を迎え、更新手続の勧奨及び補助を積極的に行い、有効なマイナンバーカードの所持率を低下させないよう、さらなる普及促進を行います。 ③住民対応で生まれる気付きを大切に、職員各々が自己研鑽に努めるとともに、得た知識と情報の共有をはじめとした協力体制強化により組織力を高め、サービスの質向上や確実性を担保し、業務効率化につながる業務改善に取り組みます。
(2)	実現したい成果	安心して暮らすための福祉と健康施策を推進します。
	取組内容	①子どもたちが笑顔で成長できるよう、乳幼児健康相談から保育園、学童保育など、成長過程やニーズに合ったサービスの提供と、保護者や関係機関との有機的な連携により、安心して子育てできる環境づくりを支援します。 ②経済不安や健康、介護など、支援を必要とする住民に対し、訪問や関係機関との連携などにより、対象者の状況に適した支援を行います。(虐待、生活困窮、8050(はちまるごーまる)世帯、避難行動要支援者等) ③健診結果を基にしたフォローアップと追跡調査により、適切な医療へ繋げるとともに、生活習慣改善について住民自身の行動変容を目指した保健指導に取り組みます。
(3)	実現したい成果	安全な生活環境づくりのため空き家対策等事業を推進します。
	取組内容	①所有者死亡等により管理者が明確でない空き家に対して相続人調査を行います。 ②管内空き家の巡回等により現況を把握し適正管理につなげます。 ③機能的な空き家台帳管理のしくみを構築します。

まちづくり推進部 大森地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 大森地域課
所属長名	齋藤 弘

1. 組織の使命(ありたい姿)

みんなで地域の財産を守り育んでいます。そこは人々が集い、笑顔で楽しい時間を過ごしています。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 魅力あふれるリゾート村を目指します。
- (2) 適切に公共施設・道路の維持管理に努める必要があります。
- (3) 質の高い行政サービスを提供するため、職員の資質向上を図る必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

住民の声をしっかり受けとめよう！ 明るく元気に柔軟に！

4. 今年度の方針

- (1) 豊かな自然に触れスポーツや温泉で汗を流し、何度も足を運んでもらえる魅力あふれるリゾート村を目指します。
- (2) 安全安心で住みよい地域をつくるために、所管する公共施設を適正に管理します。
- (3) お客様の立場で考え、様々な発想や創意工夫により、質の高い行政サービスを提供します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	魅力あふれるリゾート村
	取組内容	①リゾート村の賑わいを創出するための仕掛けづくりを行います。 ②芝桜を始め、適正な公園管理を実施します。 ③令和8年度からの体育施設の指定管理に向け、関係課と連携し準備を進めます。
(2)	実現したい成果	安全安心で住みよい地域
	取組内容	①FM計画に沿った公共施設の適正な維持管理に努めます。 ②定期的なパトロールにより早期に危険箇所を把握・修繕し、安全安心を確保します。 ③庁舎の方向性について検討します。
(3)	実現したい成果	質の高い行政サービスの提供
	取組内容	①市民が相談しやすい職場環境づくりと、あいさつを始め親切・丁寧な対応に努めます。 ②業務に関する知識の習得や、情報収集を積極的に行い能力向上を図ります。

令和7年度

まちづくり推進部 大森市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 大森市民サービス課
所属長名	佐藤 大

1. 組織の使命(ありたい姿)

市民の生活を支える最前線として、迅速丁寧な行政サービスを提供します。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 限られた人員で幅広い窓口業務、福祉・保健衛生業務を担っています。
- (2) 他地域に比較し高齢化率が高く、住み慣れた地域で暮らし続けるための支援が必要となっています。
- (3) 空き家の適正管理など、人口減少に伴い地域の環境保全が徐々に難しくなっています。

3. 今年度の『スローガン』

住民の声をしっかり受けとめよう！ 明るく元気に柔軟に！

4. 今年度の方針

- (1) 課内の連携体制を強化し、職員の業務知識向上に努めます。
- (2) 住民の健康寿命延伸と地域のつながりの醸成に取り組みます。
- (3) 快適な生活環境維持のための対策を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	課内の連携体制を強化し、職員の業務知識向上
	取組内容	①来庁された方への明るい挨拶と丁寧な対応を心掛けます。 ②職員同士が互いに助け合える良好な関係性を構築します。 ③繁忙期など協力し合うことで担当外の業務を覚え、実践につなげます。 ④積極的な研修受講により個々のスキルアップを目指します。
(2)	実現したい成果	住民の健康寿命延伸と地域のつながりの醸成
	取組内容	①訪問・電話・面接による受診等勧奨や特定保健指導を強化します。また、個別の相談に応じ、必要な助言や指導を行い、住民主体の健康づくりを支援します。 ②関係課等と連携・協力しながら健康保持増進のための健康教育等を実施します。 ③民生委員や町内会等との協力関係を築き、地域での見守りや生活支援を実施します。
(3)	実現したい成果	快適な生活環境維持のための対策
	取組内容	①クリーンアップの実施やゴミの不法投棄防止など、環境保全に向けた取り組みを実施します。 ②空き家台帳の随時更新と所有者への適正管理の指導、危険空き家の事故防止に向けた対策を実施します。 ③中山間地集落などの生活継続に向けた課題や対策を調査検討します。

令和7年度

まちづくり推進部 十文字地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 十文字地域課
所属長名	小國 晶

1. 組織の使命(ありたい姿)

十文字地域のあり方を考え、地域住民と共に持続可能な地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 地域の共通課題に対応するため、3地区(十文字・三重・十文字西)の交流センターの連携と特色ある取り組みを目指しています。
- (2) 公共施設等の適切な維持管理とFM計画に基づいた対応(施設の改修・解体等)を進めることを目指しています。
- (3) 業務が複雑・多様化する中で、限られた職員でも適切なサービス提供を目指しています。

3. 今年度の『スローガン』

主役は市民！地域住民と共に持続可能な地域を目指そう

4. 今年度の方針

- (1) 3地区(十文字・三重・十文字西)の交流センターの連携と特色を活かした地域づくりを進めます。
- (2) 公共施設等の適切な維持管理とFM計画に基づいた対応(施設の改修・解体等)を進めます。
- (3) 係の枠を超えた更なる協力と職員の資質向上に取り組み、適切なサービス提供につなげます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	3地区(十文字・三重・十文字西)の交流センターの連携と特色を活かした地域づくりの推進
	取組内容	①3地区(十文字・三重・十文字西)の交流センターとの綿密な情報共有と充実したサポートを行います。 ②十文字地域の共通課題や活性化の対策などについて、3地区(十文字・三重・十文字西)の交流センターの協力を得ながら検討を進めます。 ③地域づくり活動補助金等の更なる周知と活用を促し、地域住民が自主的に活動できるように支援します。
(2)	実現したい成果	公共施設等の適切な維持管理とFM計画に基づいた対応(施設の改修・解体等)の推進
	取組内容	①危険箇所の早期発見と迅速な対応により、道路・公園等の適切な維持管理に努めます。 ②十文字西スポーツ交流センターの多目的屋内スポーツ施設改修工事を実施します。また、改修後の更なる利用促進を図ります。 ③防災・防犯・交通安全に関する啓発により、安全・安心な環境を整えます。
(3)	実現したい成果	係の枠を超えた更なる協力と職員の資質向上による適切な行政サービスの提供
	取組内容	①窓口・電話対応等は、親切・丁寧かつ分かりやすさを心がけ、「伝わる」ことを意識し、共通理解が図られるように努めます。 ②係の枠を超えた更なる協力とOJTによる職員のスキルアップを図り、適切なサービス提供につなげます。 ③来庁者が快適に目的を果たせるよう、庁舎の適正管理・環境整備に努めます。

令和7年度

まちづくり推進部 十文字市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 十文字市民サービス課
所属長名	野村 禎介

1. 組織の使命(ありたい姿)

市民に寄り添う地域の窓口(拠点)となり、安心して心豊かに暮らせる地域づくりを支えます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 市民ニーズの多様化、制度改正等による業務の複雑化の中で、適切な市民サービスの提供を目指しています。
- (2) 保育施設を安全・適正に管理し、安心して子どもを預けられる環境の整備を目指しています。
- (3) 安全で安心して暮らせるために必要な支援を必要な方に適切に届けることを目指しています。

3. 今年度の『スローガン』

主役は市民！ 傾聴と適切な案内により、お客様の満足度を満たす案内人になろう

4. 今年度の方針

- (1) 市民ニーズを的確に把握し、「伝わること」を意識した適切かつ丁寧な市民サービスを提供します。
- (2) 安全かつ安心して子育てできる環境を整えます。
- (3) 安全かつ安心して暮らすことができるよう保健・福祉・環境施策を推進します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民ニーズを的確に把握した上での適切かつ丁寧な市民サービスの提供ができている
	取組内容	① お客様に寄り添った傾聴によりスムーズな窓口対応、関係機関への橋渡しをします。 ② 積極的な研修参加とOJTにより、個々のスキルアップを図るとともに、知識の共有により組織力を上げ、適切なサービス提供を図ります。 ③ マイナンバーカードの利活用方法の周知とマイナポータルでのオンライン手続きの利用を促進させます。 ④ 「リモート相談窓口」の一層の周知とお客様の状況に応じた相談手法の提供と案内を徹底します。
(2)	実現したい成果	安全で安心して子育てできる環境が整備されている
	取組内容	① 子どもたち一人ひとりを大切に見守り、安全で安心した子育てをサポートします。 ② 保育施設や学童保育施設、小中学校など関係機関との情報共有と連携により、子育てをサポートします。 ③ 保育施設や学童保育施設の安全な施設管理と整備を行い、子どもたちが安全に過ごせる環境、保護者が安心して子育てできる環境を整えます。 ④ 関係部署との連携のもと、三重保育所の民営化に向けた保育業務の引き継ぎを確実にを行います。
(3)	実現したい成果	安全で安心して暮らすことができる保健・福祉・環境が整備されている
	取組内容	① 健康寿命の延伸を目指し、各種健(検)診、予防接種及び健康相談・家庭訪問を実施します。 ② 総合的相談支援を円滑な組織連携により行います。また、民生児童委員等との連携を密にし、要支援者の早期把握に努め、必要な支援が必要な方に適切に届くよう対応します。 ③ 管理不全空家等の巡回と所有者への安全管理の要請、状況に応じた安全対策を的確に実施します。 ④ 公共施設の安全な維持管理と、FM計画に基づいた施設運営管理を行います。

令和7年度

まちづくり推進部 山内地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 山内地域課
所属長名	高橋 優華

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域のコミュニティ組織と連携した市民満足度の高い地域づくりの推進

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 住民意識の多様化や経済状況の変化に対応した職員の更なる資質向上
- (2) 山内地域農林産物の生産体制の維持向上及び観光資源の活用
- (3) 少子高齢化や人口減少による様々な分野での活動限界や担い手不足

3. 今年度の『スローガン』

市民と行政との協働による「元気で魅力あるまちづくり」を目指そう

4. 今年度の方針

- (1) 職員の更なる資質向上と市民満足度の高い行政サービスの提供
- (2) 山内ブランドや自然等の様々な地域資源を活かした地域づくり
- (3) 安全安心で住み(続け)たいと思っていただける住みよいまちづくり

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	職員の資質向上と市民満足度の高い行政サービスの提供
	取組内容	①全職員が総合窓口担当の心構えで市民対応します(ワンストップサービスの徹底) ②接遇マナーや説明内容等について定期的に振り返りながら確認します ③積極的な研修受講やOJT等の実施により職員の気づきや一層の意識改革、資質・能力向上を図ります
(2)	実現したい成果	山内ブランドや自然等の様々な地域資源を活かした地域づくり
	取組内容	①イベントを含め機会あるごとに山内ブランドのPRに努め、一層の知名度アップと普及を図ります ②関係部署や農業団体等と協力・連携して、生産農家の意欲向上と生産を継続させる施策を展開します ③地域の観光資源を有効に活用し、利便性や魅力度の向上を目指します
(3)	実現したい成果	安全安心で住み(続け)たいと思っていただける住みよいまちづくり
	取組内容	①関係部署等と連携し、交通支援等の地域課題解決の取り組みを推進します ②「地域局だより」、「結う」及び防災無線等を活用し、旬な情報の提供とリアルタイム情報を発信します ③公共施設の適正な維持管理を行うと共に市民との合意形成を図りながらFM計画を推進します

令和7年度

まちづくり推進部 山内市民サービス課の方針書

組織名	まちづくり推進部 山内市民サービス課
所属長名	木村 任弘

1. 組織の使命(ありたい姿)

自然に恵まれた快適な生活、心豊かな生活、安全で安心な生活を実感できるまちづくり

2. 組織の抱える課題(現状)

○誰でも窓口対応ができるよう、各種事業の理解と受付事務を共有する。
○住み慣れた地域で健康で安心な暮らしができるよう、高齢者を中心に継続した健康づくりが求められる。
○集落が散在しており、要支援者の見守りやサポートも地域住民等の協力が必要である。
○山間部であり、土砂崩れなどの自然災害への対応が潜在的な課題であり、併せて野生生物や不法投棄への対応も必要である。

3. 今年度の『スローガン』

目配り・気配り・笑顔であいさつ
～子どもからお年寄りまで暮らしのすべてを見守り隊～

4. 今年度の方針

○接遇マナーを遵守し、適正で迅速な対応により、市民から親しまれ信頼される窓口対応に取り組みます。
○市民が主役、地域が主体となり、行政との協働により健康で安全安心な生活環境の維持に取り組みます。
○様々な課題を抱える要支援者へのサポートを、市民や関係団体、本庁部局と連携し実行します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	接遇マナーの向上、業務知識の習熟を図り、満足度の高い窓口対応を行います。
	取組内容	①業務に関してOJT(2か月毎 年6回)と毎朝のミーティングにより、業務内容を共有する。 ②経験の浅い職員にはスキルアップを進めるため、外部研修の受講と係内研修を行う。 ③接遇マナー振り返りを行い、市民満足度について自己評価と係内評価によりブラッシュアップを行う。 ④学童保育において利用児童、保護者と信頼を築ける接遇を行う。
(2)	実現したい成果	市民が健康に関心を持ち、地域全体で良好な生活環境が維持されています。
	取組内容	①保健活動に必要な知見を深めるための研修を受講し、各種健診後のフォローと訪問指導に活かす。 ②健康の駅を活用した健康づくり活動を継続する。 ③花いっぱい運動、クリーンアップなど環境美化活動を市民参加のもと定期的に行う。 ④空き家の適正管理に向けた取り組みと野生生物への注意喚起を徹底し、安全な生活環境に貢献する。
(3)	実現したい成果	地域生活課題を抱える市民へ寄り添った支援ができている。
	取組内容	①避難行動要支援者の把握と防災訓練での避難シミュレーション実施する。 ②孤立や生活困窮のほか重層的な支援が必要な市民へのアプローチを関係機関と共に探る。 ③地域生活課題に関する研修やセミナー等へ参加し、課題への対処法を学ぶ。

まちづくり推進部 大雄地域課の方針書

組織名	まちづくり推進部 大雄地域課
所属長名	齊藤 伸

1. 組織の使命(ありたい姿)

住民とともに生き生きと暮らせる地域づくりを進めるほか、防災やインフラの維持管理など安全安心なまちづくりに重点を置きます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 公共施設は建設から年数が経っているものが多く、FM計画と整合性を取りながら施設の再配置方針を検討し、将来を見通す必要があります。
- (2) 地域ニーズを把握し、地域の要望に答えていく必要があります。
- (3) 5年目を迎える地区交流センターは引き続き住民と協働し事業を展開するほか、住民主体の地域づくりを進める必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

住民と協働し、地域の活性化を目指す

4. 今年度の方針

- (1) 長年、利用されているものの老朽化等により廃止が予定されている施設は、住民に対して丁寧な説明をするほか、施設の再配置方針を検討し推進していきます。
- (2) 毎年実施している集落要望の聴取や集落座談会をもとに地域要望に対応します。
- (3) 地区交流センターを中心とした市民協働では、生涯学習の推進や賑わいの創出はもちろんのこと、地域課題の解決につながる事業を検討していきます。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	公共施設の再配置方針の検討推進とインフラの適切な管理
	取組内容	①農業者トレーニングセンターは令和7年度での廃止が予定されているため、利用者の調整を図るほか、当面の代替施設となるコミュニティ交流センター体育館の改修を実施します。 ②ゆとりおん大雄は運営が継続できる限り、利用者に満足していただける環境を提供していきます。また庁舎周辺の施設再配置方針を進めていきます。 ③道路、橋りょう等を適切に管理し、除雪も安全に実施することで住民の利便性に配慮します。
(2)	実現したい成果	地域要望に対応した行政サービスの提供
	取組内容	①集落要望や集落座談会を通じて地域要望や課題を把握し、地区会議や関係部署と連携して地域ニーズに対応します。 ②地域住民の安全安心のために特に防災業務に重点を置きます。 ③地域課3係と地区交流センターが連携して地域住民に密着したサービスを提供します。
(3)	実現したい成果	市民協働による地域資源を活用した地域づくりの推進
	取組内容	①5年目を迎える地区交流センターが実施する事業を地域局もサポートします。特に防災や共助組織への理解を深めるほか、交流センター独自の歴史講話などを中心に事業を展開していきます。 ②大雄サマーフェスティバルは市制施行20周年を契機として、さらに賑わいを創出するほか、持続可能なイベントなどによる地域おこしも検討していきます。

組織名	まちづくり推進部 大雄市民サービス課
所属長名	高橋 誠耕

1. 組織の使命(ありたい姿)

より身近で、より相談しやすい、地域住民に信頼される行政サービスの窓口となります。

2. 組織の抱える課題(現状)

- (1) 実質的な職員数の減少が続く中、安定した行政サービスを提供するため職員間の連携強化を進める必要があります。
- (2) 地域コミュニティの希薄化を受け、職員が計画的に地域に出向いて積極的に情報収集を行うことが必要です。
- (3) 学童保育などの施設運用の見直しは、関係者の意見を聴き、適切な時期に情報提供を行い理解を得る必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

地域住民の相談に寄り添い共感することで、
住民に安心して任せいただける組織になろう！

4. 今年度の方針

- (1) 地域住民から信頼され、安心して相談が出来る窓口を目指します。
- (2) 地域コミュニティの希薄化に対し、職員が地域に出向き積極的な情報収集を行います。
- (3) 地域にある施設に係る計画の見直しについては、住民の意見を聴き、理解を得るための周知を図ります。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	地域住民から信頼され、安心して相談のできる窓口環境を整備します。
	取組内容	①毎朝の係内ミーティング、月1回の課内打ち合わせを中心に課内連携を図ります。 ②接客マナーの基本である、あいさつ・表情・態度・身だしなみ・言葉遣いについて、課内で接客スキルを高め話し合う機会を設けることで、住民に満足していただける窓口サービスを追求します。 ③窓口を中心としたダブルチェックは課内全員が対応し、さらにミス防止のためのマニュアル化を進めます。
(2)	実現したい成果	地域コミュニティの希薄化に対し、職員が地域に出向き積極的な情報収集を図る。
	取組内容	①独居をはじめとする高齢者のみ世帯の訪問を強化します。健康に懸念がある、または生活に困窮しているなど支援を必要とする世帯が地域内に相当数あり、支援が必要な世帯を突き止め、関係者と連携して行政サービスによる支援に繋げていきます。 ②前年度に続き、注視していく必要がある空き家について民生委員など住民代表とともに現地調査を行うことで、地域との共同巡回を定期化します。
(3)	実現したい成果	地域の施設に係る計画の見直しについて、住民の意見を聴き、理解を得るための周知を図る。
	取組内容	①学童保育施設の運営形態の見直しについて、利用者をはじめ関係者の不安払拭のため適切な時期に情報提供を行います。 ②大雄地域福祉センターの中長期的な活用について、指定管理者と計画の見直しが必要かを含めた検討を進めます。 ③大雄堆肥センターへ搬入される生ごみについては、大雄地域のみが収集エリアとなっており、将来も地域での収集を継続するべきかなど住民の意向を確認していきます。